



なかっ子だより

中新田小学校
学校だより
令和2年12月1日

いま 生きる ということ

6年生の教科書に『生きる』という詩が載っています。

谷川俊太郎さんの作品です。一部を紹介します。

生きるということ / いま生きているということ / それは何がかわく
ということ / 木もれ陽がまぶしいということ / ふと或るメロディー

を思い出すということ / くしゃみをする事 / あなたと手をつなぐということ……

人を愛するということ / あなたの手のぬくもり / いのちということ

この詩は、「生きる」、「生きている」ことを実感できる瞬間をあらためて考えさせてくれます。

昨年度の卒業式で、子どもたちにこんな話をしました。

私たちは、日々「当たり前」に思っていたことが、自分の手の届かないところになってしまった時に、初めてその大切さ、ありがたさに気がつくのかもしれない。君たちが毎日、元気に学校に来ていたという、日頃は気にも止めない「当たり前」のことが、いかに大切で素晴らしいことであったのかを、今、かみしめています。

現在新型コロナウイルス感染症が不気味な広がりを見せています。もしかしたら、今後、子どもたちの学校生活にも少なからず影響が出てくるかもしれません。こんな時だからこそ、「生きている実感」、「毎日の生活への感謝の気持ち」を忘れずに、一日一日を大切に過ごしてほしいです。

ご協力 お願い します

これまでも毎日提出していただいている健康管理カードの内容が12月から変更になっています。「同居の家族等」の健康状態の確認が追加されますので、ご記入をお願いいたします。同居のご家族等で

発熱等風邪の症状がみられる場合、感染源を絶つことを目的に、児童は登校させないようご協力をお願いいたします。なお、この場合児童の出席に関する扱いは「出席停止」とし欠席扱いとはしません。



小中一貫教育について

教務担当 金 佳孝

「未来を拓く、心豊かなたくましい中小の子 ~人と人との絆のなかで、共に学び合う9年間~」これは中新田小学校の教育目標です。海西中学校区の3校では、共通の教育目標を立てています。この教育目標に向かって、小中が連携を図りながら、9年間を見通した指導を行っています。

また、「小中連携授業参観・懇談会」や「児童・生徒指導担当者連絡会議」を定期的に行い、児童生徒の現状や指導の課題などについて情報交換をして、児童理解や指導の改善に役立てています。さらに、6年生が中学校生活に対し不安を感じないよう「体験入学」や「合唱練習の見学」なども行っています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止されているものもありますが、どれも小学校と中学校をつなぐ大切な活動となっています。

新しい体育館で
体育ができるよ
うになりました
た！！



【2年生】 「考えたことを言葉にする経験を」

1年生の頃と比べて学習内容もレベルが上がり、新しく出会う学習の中にも、今までに習ったことや身につけてきたことを組み合わせながら考えるものが増えてきました。

算数のかけ算の学習では、「九九を覚えること」と「かけ算の仕組みや性質を学ぶこと」が大切です。特に「かけ算の仕組みや性質を学ぶ」ことによって、「どんな場面でかけ算を活用するのか」という思考が生まれてきます。2年生の子どもたちは、「2のだんは2ずつ増えるから…」とか「4倍っていうのは、4つぶんで、×4のことだから…」と新しい計算の仕組みを言葉にしながらかえ、文章問題に合った式を作ったり、自分の式の正しさを説明したりしています。

国語の「〇〇の作り方」の作文でも、伝えたい作り方を相手に伝わる表現にするために、どんな言葉にしたら伝わるかを一生懸命考えている姿が見られます。

学習の中で、友だちの説明を一生懸命聞き、自分の考えを整理する、小さな学者たちの姿が見られ、嬉しくも頼もしい、そんな気持ちになるのです。

【3年生】

3年生は、理科・社会・総合的な学習・外国語活動・リコーダー・習字など、はじめての学習がいっぱいです。新たな学習に、日々胸をワクワクさせながら取り組んでいます。

社会では、スーパーマーケットの学習をしました。保護者の皆様にご協力いただいた「一週間の買い物調べ」をクラスで集計したところ、クリエイトや業務スーパーが上位でした。その理由をみんなで考えたり話し合うことで、スーパーの様々な工夫が見えてきました。

また10月末には実際にイオンを見学することで、授業で学んだことを再確認したり、新たな学びを得ることができ、貴重な経験となりました。

理科では、身近な音や光について学習しました。子どもたちが一番楽しみにしていたのは、虫眼鏡で日光を集め、黒い紙を燃やす実験。教科書を先に読んでいた子どもたちが「先生、早くやりたいです！」と熱望していました。実験当日は「すごーい！」と興奮気味でした。

新しいことや面白いことが大好きな3年生。友達とも遊びを中心に強く結びついていきます。今後も興味や関心を広げながら、学習・生活を進めていきます。

コロナ禍の学校給食

新型コロナウイルスの感染が広がる中、給食が実施されています。始めるにあたって、安全な給食のためにはどのようにしたらよいかを検討してきました。

感染症対策として、ハンドソープを使って手洗いをしっかりする、机は前を向いて席を離す、おしゃべりをしないで食べる。また、教室で机を離して広がるために配膳の場所が取れないときは、廊下に配膳台を置いて配膳する。そして、児童が交差しないように一方通行で移動させるなどの感染対策をとっています。

給食が始まったときは、今までと違って戸惑う様子が見られましたが、今ではだいぶ慣れてきて手早く配膳や片付けができるようになってきました。これからも、さらに手洗いの徹底、配膳や食事時の感染に気を付けながら給食を実施していきたいと思います。

スムーズに配膳ができるようになりました。



食べることに集中して黙って食べています。